

科目名	東洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	北アジア・中央ユーラシア世界の歴史			
担当者	鈴木 宏節			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	<small>manabaアンケート機能を使用した質疑応答で教員・学生間の対話を重視する。</small>	実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <p>アジアの地理や生業を把握します。その上で、北アジア・中央ユーラシア世界が世界史に対してどのような影響力をおよぼしていったのかを理解します。そして、現代に伝わる歴史的文物や事象がどのように形成されてきたのかを考え、時間軸「いつ？」と空間軸「どこで？」をおさえたいうえで、歴史の流れを適確に説明する能力を養います。また、大学での学びについての基礎事項を修得し、それを実践できる講義を目指します。</p> <p>[授業概要]</p> <p>アジアを東西南北の4つに区分した上でそれぞれの地理・風土の特徴を解説し、特に世界史を牽引してきた北アジア・中央ユーラシア世界の特徴をとらえてゆきます。ヒト・モノ・カネ・情報がゆきかう中央ユーラシアの特徴を読み解くために、遊牧民とその生活、オアシス農耕とその生活、草原とオアシスの共生関係、万里の長城、シルクロードなどを題材とします。</p> <p>なお、第1～3講の前半50分はスタディスキル入門と題し、大学での学びについての基礎事項をレクチャーします。具体的にはノート・テイキング、リーディング、ライティングの基本、レジュメ・レポート作成の基本をおさえてもらいます。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <p>プリントを配布し講義形式の授業をすすめる。高等学校で利用した世界史の教科書や図版で予習、あるいは既習範囲を確認する。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタディスキル入門(1) + ユーラシアとアジア 2. スタディスキル入門(2) + アジアの区分 3. スタディスキル入門(3) + 草原の生業 4. 遊牧帝国とその特徴 5. オアシスとシルクロード 6. 歴史の父と遊牧民 7. アジアの動く境界線 8. 草原の民族大移動 9. トルコ系遊牧帝国の時代 10. 今のモンゴル 昔のトルコ 11. 玄奘とシルクロード(1) 12. 玄奘とシルクロード(2) 13. まとめ 				

科目名	東洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	北アジア・中央ユーラシア世界の歴史			
担当者	鈴木 宏節			
<p>[成績評価方法] ミニツツペーパーへの記述 (30%) + 試験 (70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaアンケート機能を使用し、講義内容についての質疑応答をおこないます。通称【目安箱】。質問内容によっては次回の講義の冒頭で紹介し、問題意識を共有します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学1-1/幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。 成績評価方法: ミニツツペーパーへの記述 (30%) + 試験 (70%)</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-1/講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。 成績評価方法: ミニツツペーパーへの記述 (30%) + 試験 (70%)</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-5/演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。 成績評価方法: ミニツツペーパーへの記述 (30%) + 試験 (70%)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: ミニツツペーパーへの記述 (30%) + 試験 (70%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: ミニツツペーパーへの記述 (30%) + 試験 (70%)</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『中央ユーラシア史』(新版世界各国史4) 著者名: 小松久男(編) 出版社: 山川出版社 (463441340X) その他、適宜紹介する。</p>				